

2020 年 11 月 12 日

中小型部品の加工に適したコンパクト CNC 旋盤 “QTE シリーズ”

新型 CNC 装置「MAZATROL SmoothEz」と「MAZAK FZ」

2 種類の CNC 装置を選択可能

ヤマザキマザック株式会社（社長：山崎高嗣、愛知県大口町、TEL：0587-95-1131）は、CNC 旋盤「QTE シリーズ」を開発、販売を開始します。

QTE シリーズは自動車部品をはじめとする中小型部品の加工に適した CNC 旋盤です。ビルトインモータ式主軸を採用し、高回転域でも安定した加工面品位を実現。さらに熱変位制御機能の搭載により、さまざまな環境下においても高い加工精度を維持します。またコンパクトな機械サイズに加えて切屑搬出装置の背面配置に対応したことで、省スペースな自動化システムの構築を可能としています。

QTE シリーズに搭載する CNC 装置には「MAZATROL SmoothEz」と「MAZAK FZ」の 2 タイプを用意、お客様のニーズに合わせて選択が可能です。

「MAZATROL SmoothEz」は当社独自の対話型 CNC 装置「MAZATROL シリーズ」の新型エントリーモデルです。「15 インチタッチパネル」を採用、表示画面の各種カスタマイズも可能とし、すぐれた操作性を実現しています。またプログラムの作成・修正を容易にするクイックマザトロール機能や、オフィス PC 上の CAD/CAM ソフトウェアとの連携機能など、生産性向上をサポートするさまざまな機能を搭載しています。

「MAZAK FZ」は G コードによるプログラミングに対応した CNC 装置であり、従来モデルに比べプログラムのメモリ容量増大など基本性能の強化に加えて、操作性・保守性も向上しています。

対象ワークサイズの異なる「QTE-100 SG」と「QTE-200 SG」の 2 機種を展開し、11 月 16 日より開催される「JIMTOF 2020 Online」に出展、同日販売を開始します。



【QTE シリーズ（QTE-200 SG） 外観】

掲載されているプレスリリースは、報道関係者へ発表した情報の要約です。

予告無く内容が変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください